

Cinema Bravo!

映画祭レポートその2号

第 18 回映画祭 TAMA CINEMA FORUM へのご来場ありがとうございました！ 映画祭レポートをお伝えします!!

11月23日、ヴィータホールでは「それぞれの旅立ち—プレビュー特集上映—」が行われました。

当日はたくさんのゲストの方々においでいただき、華やかな雰囲気にもまれたヴィータホールでした！

「年々歳々」からは安達正軌監督 江野沢愛美氏 指出瑞貴氏 田中柚里佳氏 宮崎翔太氏、

「約束の地」からは加納周典監督 藤真美穂氏 渋谷亜希氏 渋谷武尊氏、

「はじめての家出」からは菱沼康介監督 金澤美穂氏 斉藤リナ氏 米村美咲氏、

そして「かさぶた姫」からは三城真一監督 近野成美氏 相葉弘樹氏 高山都氏、がご来場いたしました。

俳優の皆さんの華やかな雰囲気にも、ご来場のお客様からの大満足のお声、「かわいい～」「かっこいい～！」の声にもまれたヴィータホールでした。

監督、出演者のみなさんに撮影時のエピソードなどを色々お話いただけました！

その日の模様が、出演者の皆さんのブログにも上げていらっしゃると思いますので、是非チェックしてみてください！

また、この上記4作品を見逃した方は、「エイベックス・ニュースター・シネマ・コレクション」が、1/24(土)～渋谷のシアター TSUTAYA で行われます。そちらでご覧いただけます。

・「かさぶた姫」.....1/24(土)～1/30(金)

・「約束の地」.....1/31(土)～2/6(金)

・「GIRLS LOVE」...2/7(土)～2/13(金)

・「はじめての家出」...2/14(土)～2/20(金)

・「年々歳々」.....2/21(土)～2/27(金)

お越しいただいた各作品の監督、俳優の方々、本当にありがとうございました！！

それを応援にいらっしゃったお客様にも心より御礼申し上げます！！



「はじめての家出」舞台挨拶

映画祭レポート

11月29日

11/29(土) パルテノン小ホールでは『百万円と苦虫女』『人のセックスを笑うな』『グーグーだって猫である』の3本を上映いたしました。

そして、『人のセックスを笑うな』上映後には共に当映画祭2回目のご来場となります井口奈己監督、俳優の忍成修吾さんをお迎えしてトークショーを開催いたしました！『犬猫』に引き続き2作連続のタッグとなる井口監督と忍成さん。忍成さんをキャスティングしたきっかけや井口監督の演出方法、そして『人のセックスを笑うな』の撮影エピソードなど様々なお話を伺いました。

劇中のそれぞれの衣装について、堂本とえんちゃんのキスシーンのエピソードなど貴重なお話をたくさん聞くことができました。

ゆったりとした自然体の空気が流れているという井口組の現場同様、トークショーも終始リラックスしたお2人のゆるやかな空気のもと楽しい時間となりました。

井口監督、忍成修吾さん。楽しい時間をありがとうございました！

そして、会場には女性を中心に本当にたくさんのお客様にお越し頂きました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



11月29日のやまばとホールは「昭和の風景」と題して『ラストゲーム 最後の早慶戦』『母べえ』『ALWAYS 続・三丁目の夕日』の3本を上映いたしました。

上映中にはすすり泣きが聞こえ、エンドロール後には拍手まで起こった『ラストゲーム 最後の早慶戦』の上映後には、神山征二郎監督、司会に映画評論家の北川れい子氏を迎えてのトークショーを行いました。

キャスティングの際のこだわり、CGに見えないCG合成を行うための苦労話といった映画制作の裏側の話から始まったトークショーは、本当は早稲田大学に入りたかったという監督ご自身の学生時代のお話や、実は大のジャイアンツファンであるとの意外？な告白など、普段は聞くことの出来ない充実の内容となりました。

神山監督、北川さん、貴重なお話ありがとうございました。



映画祭レポート

11月30日

最終日の30日やまばとホールでは『歩いても 歩いても』をめぐる監督の是枝裕和さんと聞き手の篠崎誠さんによる、映画の続きのような和やかであたたかいトークが行われました。

聞き手の篠崎さんは是枝さんと同世代の映画監督仲間であり、デビュー当時一緒に世界の映画祭を回って以来の付き合いというだけあって、舞台上でも息のあったやりとりが途切れなく続き、いつまでも聞いていたいと思える心地よい時間でした。

お客様も同じ気持ちだったようで、質疑応答でも熱い思いが伝わる質問が続きました。それぞれの胸の中に『歩いても 歩いても』によって引き出される「家族」への思いが広がっていたのでしょうか。

トークを終えて楽屋に戻ってからも映画のこと、家族のこと、新作のこと、などなど話がつきないお二人。

お二人とも話が面白くて、ついつい傍らで聞き入ってしまいました。今後の作品もぜひ、映画祭でお迎えしたいです。



ブラボー企画始まって以来のチケット(ほぼ)完売ということで、多くのお客様と多くの関係者が集った怒涛の1日になりました。

お客様の中には岐阜や愛知、石川県などからも来場された方もいらっしゃいました。

第1部では、西田和昭氏(ぼんちゃん)と中野ダンキチ氏が水野晴郎氏の思い出話を語った後で、水野晴郎映画塾の第1回製作作品『シネマの高円寺(へきち)』がワールドプレミア上映されました。

上映後には出演の水野晴郎映画塾塾生の舞台挨拶や、主題歌を担当するChu! Lipsのライブショーも行われました。



第2部では映画祭2度目の来場となる河崎実監督の、世界の映画祭を震撼させた傑作『ギララの逆襲 洞爺湖サミット危機一発』を上映いたしました。

上映後のトークではこれが最後の映画出演となった水野晴郎氏の思い出話や映画撮影の裏話、今後の作品予定などが語られました。

そして第3部では「第三回ブラボー映画グランプリ」が行われました。11メーカーから22作品がノミネートされ、今年度のもっともブラボーな作品を選定するコンペとなりました。

司会は昨年に引き続き斉藤洋美さんをお願いいたしました。

ネット投票と当日の投票の結果受賞作品は以下のように決定いたしました。

- ・2008年グランプリ作品「感染都市」(クリエイティブアクザ)
- ・オープンカテゴリーグランプリ作品「アホリックス リローデッド」(トランスフォーマー)
- ・ブラボー賞「プテロドン 零式戦闘機 VS 翼竜軍団」(AMGエンタテインメント)

ご来場頂いたお客様、ゲストや関係者の皆様、お手伝い頂いた皆様、本当にありがとうございました。

映画祭実行委員を募集します

映画好きの方、イベント好きな方、地域活動に興味のある方など、映画祭に興味のある方は、次回の映画祭「第19回映画祭 TAMA CINEMA FORUM」をわたしたちといっしょに作ってみませんか。

実行委員会の募集説明会を3月22日に行う予定です。

詳細は事務局にお問い合わせ頂くか、ホームページをご覧ください。

支援会員制度のお願い

「実行委員やシネマ隊として参加するのは難しいけど、TAMA 映画フォーラムを応援したい」
そんな方はぜひ「支援会員」としての応援をお願い致します。

支援金寄付 個人会員：一口1000円 法人(団体)会員：一口5000円

ご協力いただいた方は、インターネットのホームページなどでお名前を掲示します。

ただし掲示を希望されない方は、その旨を郵便振替用紙通信などでお知らせ下さい。

郵便振替番号 00160 - 5 - 541123

加入者名 TAMA 映画フォーラム実行委員会

(ご不明な点はお問い合わせ下さい)

第18回支援会員(個人会員)の皆様

小林まさこ様	小林 亮司様	笹波 真砂様	新木 康子様	長谷川みよ子様	松井 圭様
光沢 洋子様	宮崎 慎也様	渡辺美南子様	高橋 清子様	岡島 敏子様	宮田 俊雄様
奈良喜代美様	三吉 啓司様	小野寺紀子様	浅沼 司一様	小島三保子様	市川たづ子様
岡田 愛様	矢野 陽子様	坂本 恭樹様	出浦 和子様	小林 武子様	鈴木百合子様
広井ひより様	谷 弘美様	萩原マサ子様	岩織 宣子様	青木 洋子様	花岡 三枝様
遠藤 和枝様	小川 成美様	青木 礼子様	市原満洲男様	小貫 京子様	木村 高子様
佐藤 益朗様	杉村みつ子様	伊藤百合子様	中村久美子様	楡井三恵子様	大野 明様
高橋 精博様	加治木日出子様	阿南すみ子様	風間 明美様	穂苅 弘幸様	山田 光二様
森 世一様	及川 俊子様	門澤 忠雄様	合田美佐子様	小舘 映子様	太田 茂様
近藤 昭子様	高谷 一枝様	斉藤美砂子様	金子 稔様	西山 敬二様	宮崎太四郎様
末木あさ子様	野村 弘子様	坂 貴子様	長濱 憲様	榛葉 豊明様	川島 武夫様
横山 令子様	佐藤 大徳様				

ほか、のみなさま

発行:TAMA 映画フォーラム実行委員会

〒206 - 0025 東京都多摩市永山1-5 (ペルプ永山) 多摩市立永山公民館内

TAMA 映画フォーラム実行委員会

TEL080-5450-7204(直通)、042-337-6661、FAX 042-337-6003

<http://www.tamaeiga.org/> <mailto:info@tamaeiga.org>

